

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

*** 佐藤明達氏の天文学関係書籍の提供がある！**

2008年5月31日土曜日、国立天文台輪講室で「談天の会」第40回で佐久間精一氏から「一戸直蔵」の資料提供の話があったことを15号に書いた。

同じ「談天の会」第40回の席に、この会の大御所的存在の佐藤明達氏（木下宙氏談）がいて、佐久間さんと中桐の「一戸直蔵」の資料に関するやり取りがあった後、会が終わって佐藤氏が中桐のところに来て、「私は末期高齢者でもう長くは生きていない、自分のもっている天文学の書籍、資料を譲りたい、まだ手元においておきたい書物もあるので、今すぐ全部をというわけにはいかないが、今現在譲れるもののリストを渡すので選んでもらいたい、そして自分の死後には、天文学関係の書籍、資料は総て国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室に譲るよう息子に言うておく」と言ったのである。

佐藤明達（さとう あきさと）氏のことは中桐もよく存じ上げていた。彼のことを多くの人々は「さとう みんたつ」と読んでいたことを覚えている。中桐は、昭和48年から6年間、天文学会理事をしていたが、佐藤氏は京都大学の宇宙物理出身で、大阪電気科学館のプラネタリウムにお勤めで、天文学会総会でよく発言する方であり、日本天文学会に100万円単位で何回か寄付をされた方でもあった。中桐が理事の頃、日本天文学会に1961年に大塚寛治氏の寄付金で創設された大塚奨学金を、五藤光学研究所と佐藤明達氏よりの寄付を加えて内地留学奨学金と改名し現在に至っている。この奨学金は、主にアマチュア天文研究者を日本国内の研究機関において、天文学及びそれに関連する分野の研究を目的とする短期間の内地留学をするための経費を補助しているものである。

まだリストをいただけていないので、どのような貴重な書籍、資料があるかは不明だがありがたい申し出とお聞きした。